

《研究課題名・セミナー名等・調査課題名》

車椅子に関する着脱式テーブルの開発

《申請者》

フリガナ イバラキビジネスカブシキカイシャ
所属機関・団体 茨城ビジネス株式会社
職位・氏名 代表取締役 根本 聡

《研究・セミナー等・調査の概要》

日々の生活に車椅子を必要とされている人に、少しでも健常者に近い環境を提供できる用品仕様を検討した結果、4つの要素が必修と考えられる。

- 1: 車椅子の乗降にあたりテーブルの着脱をしなくても乗降できる機構
椅子の乗降が面倒でなくなると活動時間と範囲が広がると考えられる。
- 2: 生活の中心になる行動に合ったテーブル面の高さを選択できる機構
テーブル面の高さが選択できると、動作姿勢に負担を軽減するから疲れも軽減できる。
- 3: テーブルに格納箱を備え、その人の身の回り品（眼鏡、携帯電話など）を椅子で移動した後に忘れ物を取りに戻らなくする。
- 4: 車椅子が変わった場合機種に応じ取り付けサイズに適応できる機構
上記4つの機構が備わっていると、都合で車椅子を他の椅子に変わる時、肘掛幅が異なってもテーブルの取り付けに支障なく設置できる。

以上が完成することは、車椅子利用者が不便を感じ生活範囲をあきらめている人に、改めて楽しい生活を実施でき一人でも多くの人を励ましたい。